

役場庁舎整備に関する 住民説明会を行いました



9月14日(金)から28日(金)にかけて、役場庁舎整備に関する住民説明会を町内5会場で行い、延べ241名が参加されました。説明会では、庁舎整備の必要性や基本方針、旧三田川中リフォーム案と現在地への建替え案の比較検討結果等を説明しました。主な説明内容は次のとおりです。

なお、説明会で配付した資料は町のHPに掲載しております。

基本理念

『町民の「安心安全」の拠点として 利用しやすく小鹿野町らしい庁舎』

この基本理念を実現するため、次の5つの基本方針を定めました。

- 1 安心安全な町民のための庁舎
- 2 町民サービスの向上を目指した庁舎
- 3 ふるさとの個性を活かした小鹿野町の活性化に繋がる庁舎
- 4 まちづくりと環境に調和した庁舎
- 5 ICTとフレキシビリティ対応を考慮した経済的で合理的な庁舎

整備方法

- (案1)旧三田川中リフォーム
- (案2)現在地に建替え(木造)

比較検討

庁舎整備の比較検討は、①まちづくりの視点、②概算事業費・ライフサイクルコスト、③基本方針の視点から慎重に検討を行いました。

その結果、庁舎の整備方法は、「現在地に建替え」が既存施設や既存の街並みとの関係性が高く、耐用年数を考慮したライフサイクルコストも優位であり、基本方針の視点から比較しても有利となりました。

	旧三田川中リフォーム	現在地に建替え
位置図		
整備方法	旧三田川中校舎(築43年)のリフォーム	現庁舎(築52年)を壊して建替え(木造)
まちづくりの視点	既存施設や既存の街並みと関係性が低く、スポーツゾーンにある。	既存施設や既存の街並みとの関係性が高い。52年の長きに亘り、町のコアとしての役割を担っている。
初期費用 ※1	約8億円	約11億円 ※3
50年間のLCC ※4	約20.5億円 ※5	約14億円 ※6
50年間における合併特例債を利用した場合の町の実質負担額	約15.5億円	約7億円
メリット	初期費用が抑えられる。	使い勝手の良い庁舎、既存のまちづくりと調和した庁舎の建設が可能である。
デメリット	固定壁があり改修に制約がある。敷地・駐車場等に高低差がある。	引越しを2回行う必要がある。駐車場の十分な確保に課題がある。

3ページ上段へ続く

	旧三田川中リフォーム	現在地に建替え
基本方針の視点から(安心安全)	耐震補強済みである。	社会的に求められている耐震機能や防災機能整備が可能である。
基本方針の視点から(町民サービスの向上)	中学校の改修であり、動線計画やわかりやすい案内表示が難しい。	動線計画やわかりやすい案内表示及び町民スペースの確保など、利用者にとって快適な整備が可能である。
基本方針の視点から(ふるさとの個性を活かした町の活性化)	限定的ではあるが、内装材として地域産木材を活用することができ、地元経済の活性化に貢献できる。	地域産木材を積極的に活用することにより地元経済の活性化を図りながら、町民に親しまれる庁舎が建設できる。
基本方針の視点から(まちづくりと環境への調和)	両神・三田川・小鹿野・倉尾の中間点であり、まちづくりの拠点変更につながる。	コンパクトシティの核として機能でき、まちづくりの拠点としての整備が可能である。
基本方針の視点から(経済性・合理性)	老朽化対策や建替え検討が必要であり、ライフサイクルコストは増大する。	ライフサイクルコストを抑え、合理性のある機能的な庁舎の建設が可能である。

- ※1 事業費は目安として算出した概算額です。
- ※2 説明会におけるC案の庁舎本体工事費約4.5億円と外構等の付帯工事費用約1.9億円、設計調査費等約0.4億円、周辺道路整備費用1.2億円の合計金額
- ※3 庁舎本体工事費約9億円と外構等の付帯工事費用約1.1億円、設計調査費等約0.9億円の合計金額
- ※4 50年間のLCC(ライフサイクルコスト)・・・庁舎整備から、その後50年間の改修費用を含めた概算金額です。
- ※5 初期費用約8億円、築65年(22年後)での改修費用1.5億円、築80年(37年後)の建替え費用約11億円の合計金額(耐用年数の築65年経過時に長寿命化改修を行った場合でも、築80年で建替えるものとして算定しています。)
- ※6 初期費用約11億円、20年後・40年後の改修費用各1.5億円の合計金額

各会場で皆さんからいただいたご意見等

- 旧三田川中リフォーム案を支持 8人
- 現在地に建替え案を支持 7人
- その他 15人

▶三田川中学校をリフォームするのが良いと思います。理由としては駐車場が広い事。あと、役場の裏は地盤が弱いこと。合併特例債は結局借金。子や孫に負担をかけさせたくない。

▶建築ありきの説明。お年寄りの安全をケアしたうえで箱物造らなないと。お年寄りも加速的に増えるから、そっちが先ではないか。本庁舎は三田川に移し、現庁舎は観光の窓口にして貸してはどうか。どうしてもと言うなら住民投票をしたらいい。

▶庁舎を新しく建てることに大賛成です。空いている施設がありますが、当初建てる時に目的を持って建てている。目的が違うことから不便さが出てくる。特例債があり、4億円くらいで建つことと町有林を上手に使ってもらったら良いのではないかと。また、現在の場所は農協があり、郵便局も病院も近い、中学校も小学校も近いという中で一番良いところではないかと思っています。基本的に一つの庁舎でものが済むのが一番望ましいと考えるので、是非そのように進めてもらいたい。

▶耐震もできず、建替えざるをえないというのが実情だと思う。場所も今のところが公共施設等いろいろあって良いと思う。ただ、後々お金のかからない庁舎にしてほしい。

▶今の位置はがけの先端に建てることになる。この建物は建替えるべきだが、もっと大胆な都市計画をつくり、中学校を三田川中にして、小鹿野中学校の位置に庁舎を建てればなんの問題もないのではないかと。

▶庁舎を一つにすることが、町の最大の課題だと思うので、是非実現していただきたい。庁舎が震度6強で壊れると言っても、避難訓練とか、庁舎内に注意の表示等もされていないので、今後表示等もしていただきたい。

アンケートの自由意見の結果

- 旧三田川中リフォーム案を支持 2人
- 現在地に建替え案を支持 18人
- その他 26人

▶借金して建替えを至急しなくてもいいと思います。三田川中学校をリフォームして当分の間使用し、新しい庁舎をゆっくり建築願います。

▶庁舎整備する主な理由は耐震の事、それならば耐震補強済みの三田川中を利用すべきではないでしょうか。見積り金額等もリフォーム案は高すぎると思いました。比較検討は明らかに偏りを感じました。

▶説明会で町民の意見を聞くのは良いこと。だが、それは手段で目的は町に必要な庁舎を作ること。町への批判が多く、もう少し建設的な意見が欲しかった。私は現在地への建て替えに賛成です。庁舎の耐震性が無いならすぐに移動すべきとの意見が出たが、自分の家ならどうする...他人事ではない。現実を考えるべき。だから早く建替える議論をしている訳で、決定実行を早くすべきで、それまでは今の庁舎に居れば良い。

▶52年経過し耐震不足の庁舎は最小の単位で現在地に建設し、町債を増やさず削減する努力をすると共に、駐車場の面積を3倍に増やして町民の利便性を図る。

▶今までと異なり自然災害が多くなって来たので、拠点となる役場は直してもらおうほうが何かあってからより良いと思います。

▶役場機能は一カ所に集約した方が良い。



問合せ ●小鹿野庁舎・総務課 ☎75-1221